



1 収益性分析

重要

一般的に投資を考える場合、先ず収益性の高い企業であるかどうかポイントとなります。収益性は、利益の絶対額が大きいほど高くなりますが、企業間の比較では、それだけでは不十分です。そこで収益性分析に用いられているのが、**資本利益率と売上高利益率**です。

資本利益率	利益というものを、資本を利用した結果として生じるものとみた場合、投下資本と関連づけて収益力を判断するのが資本利益率です。
売上高利益率	利益の基本となる源泉は売上高であるので、売上高と利益を関連づけます。

1 資本利益率

資本利益率とは、資本を利用してどれだけ利益を出したかという指標です。主に資本が、「総資本」の場合、「自己資本」の場合、「資本金」の場合があります。

$$\text{資本利益率(\%)} = \frac{\text{利益}}{\text{資本(期首・期末平均)}} \times 100$$

税引後当期(純)利益

総資本

自己資本

資本金

分母の「資本」には、期首の資本と期末の資本を平均したものの(平均資本)を用います。また、分子の「利益」には、通常、当期の税引後純利益の額を用います。



(1) 自己資本利益率 (ROE : Return On Equity)

自己資本に対する当期(純)利益の比率を表しています。株主から預かった資金をどれだけ有効につかっているかを示す指標です。

一般に自己資本利益率が高いほど、企業の収益性は高くなります。

$$\text{自己資本利益率(\%)} \text{ (ROE)} = \frac{\text{当期(純)利益}}{\text{自己資本 (期首・期末平均)}} \times 100$$

貸借対照表

	資本

この部分を使って
どれだけ利益を出
したかを見る



利益



(2) 総資本利益率 (ROA : Return On Asset)

企業に投下された総資本の収益力を表すものです。株主から預かった資金や借入金をいかに有効に活用し、利益をあげているかを示す指標です。

$$\text{総資本利益率(\%)} \text{ (ROA)} = \frac{\text{当期(純)利益}}{\text{総資本 (期首・期末平均)}} \times 100$$